

* 恵泉の永続を支えるご寄付の力 *

理事長・学園長 廣瀬 薫

今(6月)アメリカでは、トランプ大統領がハーバード大学に対して、補助金を止めて大きな圧力をかけていると報じられています。教育のあり方を意のままに従わせようという意図でしょう。補助金の停止を避けるため要求に応じた他大学もある中、ハーバード大学は抵抗を続けているようです。なぜ抵抗できるのでしょうか。ハーバード大学が受ける寄付金は2023年は約4000億円、資産は7兆円余りという驚くべき規模であり、直近では9%強の運用実績であると報じられています。それだけあれば、補助金の約3000億円を止められても、大学としての信念を貫くことが当分は可能なように見えます。(寄付をやめる寄付者の影響も懸念されています)

最近『思考の整理学』(「東大・京大で一番読まれた本」という謳い文句の本)の著者として知られる外山滋比古氏の著書『老いの整理学』を読みました。その中にイギリスの話が書かれていました。引用します。「昔、名門のパブリックスクールの生徒がゼロになった。それでも学校は閉鎖されることはなかった。教職員はそれまでどおりの給与を受けた。十年の間、学校は守られた。やがてその志が社会に認められて生徒が集まるようになった、という。」それは、「学校にしっかりした基本財産があったからである。それは寄付によるものである。」と書かれていました。「ゼロになった」は大袈裟でも、要するに生徒数が激減したのでしょうか)現代のハーバード大学にせよ、昔のパブリックスクールにせよ、志した良い教育を、外部環境

の変化による逆風や圧迫に抗して永続させ得るのは、財務的な土台がしっかりしているからです。

最近の「恵泉」誌(557号)の巻頭言にも「永続する恵泉の良い教育」と題して書きましたが、私学の財務的な土台は4つの柱から成り、①授業料、②補助金、③寄付金、④資産運用です。ハーバード大学は②を失う危機にあり、外山氏が言及したパブリックスクールは、①を失ったわけです。それでも継続できるのは、③と④がしっかりしているからです。③をファンドレイジングと言ひ、④をエンダウメントと言ひます。どちらも今までの日本の私学では弱い分野でした。

恵泉女学園の③は、恵泉フェロシップが担っています。前述の例からも分かるように、恵泉フェロシップの存在はとても重要であることを、よく心に留めたいと思います。そして、恵泉フェロシップに関わっておられる皆様に、心からの感謝を申し上げたいと思います。いつもありがとうございます。

恵泉の④は、まだ細々とした状態です。エンダウメントに当てられる余裕資金は現在ほとんどないからです。けれども、やがてこの方面が充実して行く可能性は十分にあります。特に時々不定期の多額のご寄付をいただいた時にそれを思います。多額のご寄付に感銘を受けると共に、受け取ったお志を恵泉の財務の長期安定化の資源として大切に活かしてゆきたいと願っています。

改めて皆様への感謝を申し上げると共に、今後のご支援とお祈りをよろしくお願い申し上げます。

* 2025年度募金テーマ *

2025年度募金テーマ

恵泉フェロシップでは、毎年度募金テーマを定めて、募金活動を行っています。

2025年度の募金テーマは、右記のとおりです。毎年度お納めいただいている会費は、恵泉フェロシップ常任委員会にて募金テーマに配分させていただいております。いずれかの募金テーマへの用途を指定したご寄付も受け付けております。振込用紙ご利用で連絡欄にその旨の記載があるご寄付は、指定寄付としてお受けしております。インターネットを利用したクレジットカードによるご寄付や、古本募金も受け付けております。

(<https://keisenjogakuen.jp/donation/>)

- ①大学生涯就業力教育のために
- ②大学障がい学生支援のために
- ③大学恵泉地域言語活動研究会のために
- ④大学国際交流・英語教育プログラムのために
- ⑤大学多摩キャンパス維持のために
- ⑥中高園芸教育のために
- ⑦中高芸術活動のために
- ⑧中高国際交流プログラムのために
- ⑨中高ICT教育推進のために
- ⑩奨学金のために(中高・大学)
- ⑪学園史料室のために
- ⑫花と平和のミュージアムのために



* 2024年度活動報告 *

恵泉フェロシップ事務局

2024年度は、恵泉女学園にとりまして、飛躍へ向けての土台を見直す一年となりました。2023年に5か年の中期計画を策定しましたが、大学では学生の募集停止、中高では少子化や社会から求められる中等教育の多様化などから理事会はこれを見直し、改定することといたしました。学園として大切に考えたのは、大学の在学生在が卒業するまで現在の教育環境を維持し、学生支援にも最善を尽くすこと。また、中高では現在の教育内容を検証し、将来にわたって社会に求められる学校であり続けることです。加えて、財務基盤の再構築に目処をつけ、継続的に教育活動を行うための体力を備え、学園創立100周年を充実した形で迎えることを目指しました。理事会ではこれらの課題について時間をかけて議論を重ね、2025年3月に中期計画を改定・公表いたしました。学園のウェブサイトにも掲載しておりますので、ぜひご覧ください。

また、2025年4月施行の改正私立学校法に対応するため、理事・監事・評議員・会計監査人の選任を行い、7月より新たな体制がスタートしております。

このような土台を模索しながらも、将来への歩みは確実に進められております。2024年の公募型プロポーザルの実施によって、創立100周年記念事業の柱である世田谷キャンパスフェロシップホール建築の基本設計を妹島和世

建築設計事務所に依頼することが決定しました。1年をかけた検討を経て基本設計は完了しましたが、建築に関わる外部環境は依然として厳しく、当初の計画では予見できなかった事態に直面しており、現在も適正な事業実施に向けてあらゆる手段を模索している状況であることをご報告いたします。恵泉フェロシップの働きとは別に、2024年11月には創立100周年記念事業募金を立ち上げ、主にフェロシップホールの建設費用へのご支援をお願いしているところです。あわせて皆様の記憶に留めていただければ幸いです。その他、情報教育や学園全体のDX化を支える情報機器の更新・拡充、また校舎設備の更新も実施することができました。

これらの活動に対し、皆様からは恵泉フェロシップを通じて、豊かな祈りとご支援を賜りました。とくに大口のご寄付もあり、2024年度の年間寄付収入は2億1,200万円にのびました。お預かりした寄付金は、「2024年度寄付金配分状況」に記載の通り、学生・生徒の学びを支えるため、また今後の教育活動をさらに充実させるための各事業に活用させていただいております。また、今後の学園の財務強化基金の設立も検討しております。

今後の活動にも皆様のお力添えを必要としておりますので、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。



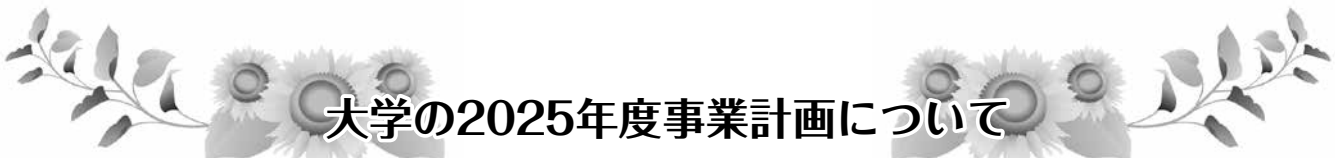
* 2024年度寄付金配分状況 *

奨学金のために	100万円	(大学 恵泉会他からの使途指定分)
奨学金のために	101万円	(中高 恵泉会他からの使途指定分)
生涯就業力教育のために	150万円	(大学)
国際交流・英語教育プログラムのために	50万円	(大学)
恵泉地域言語活動研究会のために	20万円	(大学 東京Ⅱゾンタクラブからの使途指定)
障がい学生支援のために	25万円	(大学)
多摩キャンパス維持のために	150万円	(大学 恵泉会からの使途指定 他)
蓼科ガーデンのために	9.8万円	(大学 指定寄付)
中高園芸教育のために	50万円	(中高)
100周年記念事業のために	20万円	(中高)
国際交流プログラムのために	50万円	(中高)
ICT教育推進のために	200万円	(中高)
中高教育活動のために	21万円	(中高 指定寄付)
学園史料室のために	100万円	
花と平和のミュージアムのために	100万円	
合 計	1,146.8万円	

2024年度の恵泉フェロシップの特定資産は、恵泉フェロシップ対象事業として上記の1,146.8万円の実施に伴い、2024年度にいただいたご寄付等21,205万円を用い、特定資産へ20,058万円を組み入れました。この結果、恵泉フェロシップ特定資産の残高は右のとおりとなりました。

《恵泉フェロシップ特定資産残高》

2023年度残高	73,346,744円
2024年度特定資産へ組入	200,584,387円
2024年度残高	273,931,131円



大学の2025年度事業計画について

会員の皆様には、日頃より多大なるご支援をいただいておりますこと、心より感謝申し上げます。

大学閉学が決定され2年が経過した2025年度は在籍者数270名でのスタートとなりました。3年生、4年生と2年生数名でのキャンパスは、昨年度と比べ静けさを感じることも多い一方、今年度からはゼミでの学びに昨年度と比べより多くの時間をかけ、学生一人一人の状況を把握し対応していく方針で進めております。教職員は全ての在籍者が卒業でき、希望の就職ができますように学生とより一層向き合い、学修支援と就職サポートを日々行っております。学生数は減少しておりますが、大学の学修面と課外活動については今まで通り出来る限り実施してまいります。

海外プログラムのうち協定留学プログラムについては、2026年度春学期まで派遣を実施し、今後の留学希望者を選考しているところです。現在は恵泉より韓国協定校に2名の留学生を派遣し、中国と韓国の協定校3校より7名の留学生を受け入れています。また毎年夏休みに実施している海外協定校等学生との日本語学習と文化交流のための恵泉サマープログラムは、来年年明けにウィンタープログラムとして開催できるよう検討しています。

2023年度入学生より再課程認定された教職課程におい

ては3年次より介護等体験の授業も開始し、学問だけでなく実践を通して教員になるための学びを深める段階に入りました。そして日本語教員養成課程で3年次より参加できる海外インターンシップでは今年もタイのパヤップ大学の実習を夏休みに控え、準備を進めております。

恵泉の掲げる「生涯就業力」を自ら体現し、在学中に学業以外で学内外での活動・社会貢献等で優秀な成績・顕著な功績を修めた学生を表彰する制度と、成績評価を基準として成績優秀者を表彰する制度を毎年行っております。前者の表彰制度では1団体、特別賞として個人8名と4団体が授賞し、後者は16名の学生が受賞いたしました。今年度もこのような表彰が学業意欲向上や充実した学生生活への励みになればと願っております。

今後も多様な学生の状況に寄り添い、在籍者が卒業後に恵泉での学生生活を糧に社会で活躍されますことを一心に願い、学生支援を教職員で行ってまいりたいと存じます。全ての在籍者が卒業するまで、恵泉女学園大学での学びが最後まで充実し、有終の美を飾れますように努めてまいります。引き続きご支援の程何卒よろしくごお願い申し上げます。

大学事務局 教務課長・メディア教育室長 三上 さやか



中高の2025年度事業計画について

2025年度の中高における事業計画では、主に二つの重点施策を掲げております。一つ目は、本校の建学の精神、強み、教育方針を踏まえたうえで、以下の3つのポリシー「アドミッション・ポリシー（入試）」「カリキュラム・ポリシー（教務）」「グラデュエーション・ポリシー（進路）」を策定し、ウェブサイトで公表することです。これにより、「生徒にどのような力を身につけさせて卒業させるのか」「どのような教育を行うのか」「どのような生徒を求めているのか」という3つの問いを、教職員が常に意識して教育活動を行う体制を整えます。二つ目は、ウェブサイトの全面リニューアルです。建学の理念や教育方針、日々の教育活動とその成果について、受験生や保護者の学校選びに役立つ情報を、より分かりやすく、効果的に発信できるよう改善を図ります。

また本校では、DX化を積極的に推進しており、校務支援システム「BLEND」の導入により、業務の効率化を進めています。BLENDを活用することで、保護者とのメッセージ送受信、アンケート実施、行事予定や学校からのお知らせ配信などが円滑に行え、教職員の働き方改革にもつながっています。さらに、生徒たちは「ロイロノート」というICT学習ツールを活用し、学習活動をスムーズに行っています。

平和教育の一環としての国際交流にも力を入れており、これまでの米国・オーストラリアとの交流プログラムを再検討したうえで、新たにカナダのキリスト教学校とのプログラムを開始し、さらなる充実を図っています。このようなICT教育および国際交流の環境整備は、会員の皆様からのご寄付によって支えられております。心より感謝申し上げます。

創立100周年記念事業の柱であるフェロシップホールの建て替えについては、妹島和代建築設計事務所による基本設計がすでに完了しております。しかし、昨今の資材価格や人件費の高騰により、計画の一部見直し・調整を進めている状況です。2024年11月より募金活動を開始し、多くの皆様から温かいご支援をいただいております。引き続き、より一層のお力添えをいただければ幸いに存じます。

「神に愛されている自己をまず尊重し、他者を尊敬する」という創立者・河井道先生のキリスト教信仰に根ざした教育理念を貫きながら、教職員が互いに活かし合う協力体制を強化し、少子化をはじめとする変化の激しい教育環境に対応しうる、持続可能な学校運営体制の構築を目指してまいります。今後とも、皆様のご支援とご協力を心よりごお願い申し上げます。

事務局長 宇田川 篤

「恵泉フェロシップ」会費納入者及び寄付者名簿

(2024年4月1日～2025年3月31日)

2024年度の「恵泉フェロシップ」への会費及びご寄付(入学時の特別寄付金は除く)をいただいた方は下記のとおりです。

会員・寄付者等ご芳名(敬称略、五十音順)

【賛助会員】(98件 1,630,000円)

SumikoCarroll 東玲子 伊藤菫乃 井上泰江 今永よしみ 植木龍夫 植木照代 植木奈美 宇佐節子 鷗崎創 浦川道太郎 江口井子 遠藤和子 大久保有香 大村羊紀 岡村里子 岡山洋子 小川節子 奥村敦子 梶村あつ子 加藤範之 金子充千子 加納悦子 鴨田幸子 河崎國子 川染三郎 河村英子 岸川弘 木山靖子 國清保子 窪田郁世 黒沼俊子 恵泉女学園同窓会北海道支部 小石英子 児玉喜久 後藤紀恵 齊木春霞 斎田圭子 齋藤雅子 斎藤良子 重見美和子 島文子 城俣江 末光操 杉山智子 須田則子 須藤智子 関川瑞恵 関口朝子 妹尾富紗子 高澤美津子 高峯祐子 滝島陽子 武紀代子 田村博 東方和子 利川楨子 内藤美佐子 中野昭子 中山身知子 中山由美 西尾尚子 西川晶子 西村悟郎 二宮道子 野木虔一 野間はるな 羽田和子 林信子 原真子 平林泉子 廣瀬薫 廣瀬一枝 藤野早苗 船田啓子 古谷久仁子 松田栄 松平秀久 三木里恵 水永武光 ミツツェルフエルド雅子 宮下万里 森木良子 森田晃一 矢次竜 八星恵子 山口八恵 山崎利恵 山崎彌生 山田美弥子 吉田道子 吉田靖子 匿名5件

【協力会員】(41件 228,000円)

青木映里子 荒井裕子 石原路子 稲葉敦子 岩澤十三彦 江原和子 遠藤多美子 大場祐子 小川美保子 加藤久美子 河合文夫 木村護郎 クリストフ 小山紀子 相良有紀 鷲晶子 櫻井克子 重松慶子 水津牧子 杉本淳子 鈴木詩子 鈴木紀代子 鈴木伸子 須藤晴子 田代洋子 土屋弘美 筒井淳子 鳥飼豊子 中野文子 藤田祥江 帆足咲子 細萱惇子 三角美津子 南三江 宮崎恭子 森川真喜子 山下香澄 山田幸代 山田宏子 山本和子 吉見雅映 匿名1件

【フレンズ会員】(36件 142,800円)

一柳裕子 伊藤洋子 岩井溢子 岩崎英美子 宇野佳純 海老沼茂 岡美紀子 金井順子 河村迪子 小牧夏珠 沙 近藤翠 佐原史枝 杉野圭子 関めぐみ 高橋須賀子 田付茉莉子 玉村由美子 長知子 東島昌子 内藤邦子 永井和代 中村伊都子 中村香織 二井咲奈英 西川晶子 西山順子 濱田敬子 平野紀子 広瀬陽子 古屋雅代

辺幸枝 増井幸子 松下優子 南明子 村田充子 森喜世子

【終身会員】(7件 1,800,000円)

浅田洋子 小石英子 鈴木孝美 中村智之 野呂幾久子 匿名2件

*前年度までの登録終身会員

Agnes 美智子 青木琴音 青木順子 秋口佳穂 秋葉征恵 秋山憲兄 浅井久美 浅間春彦 安達静代 網野ゆき子 荒井献 有馬扶佐子 安齋紘子 石井摩耶子 石川直子 石川瑞枝 石綿光子 市瀬由美 一色尚次 一色義子 伊藤元子 稲葉治樹 井上寛子 今橋宣子 入江篤子 岩村純子 岩村太郎 上野陽子 浮田隆介 内田幸子 内海愛子 宇野典子 梅澤ふみ子 浦田伸子 大口邦雄 大倉愛子 大蔵浩之 大山綱夫 大崎桂介・好子 岡野静江 沖野佳子 小田真実子 越智さやか 小野淳子 風間文子 梶原信夫 片野枝美子 加藤英明 金井五男・弓子 金子博 川田殖 神田照子 菊地牧恵 吉川百合子 木村恵子 木村利人 小池敬子 幸田三郎 木暮道子 児玉寿 斎藤ふみ 佐伯幸雄 坂西千鶴子 桜田悠子 佐藤雅子 佐波裕子 澤茂夫 柴野信子 島崎英子 鈴木信子 鈴木文雄 曾根順子 大工原孝 高橋直子 武野萬里子 谷口稔 田部浩子 長清子 塚本康子 堤一郎 東ヶ崎文子 遠山一行 遠山慶子 富澤千代子 中川都子 長阪朱美 長沢道子 長島たみ 中西ナオミ 中道八重子 中道景子 中山洋司 那須恵子 西島梨 西村弘・登代子 蓮見博昭 長谷部郁子 花島光男 濱田和恵 林愛子 坂東澄子 樋口孝子 平澤綾子 平手千糸子 深谷佐紀子 福原檀江 古谷圭一 堀越恵子 松井弘子 松居正子 松浦基之 松木教彰 松下俱子 Dorward 真理 三宅泰子 宗雪雅幸 村上いづみ 村上喜美子 Moss はつみ 本山早苗 森久保政司 森田武夫 森山浩二 森山倭文子 矢尾板安 山口美智子 山口淑子 山崎和子 山崎正氣 山田陽子 山本俊樹 横溝海子 横村武宣 吉川俊子 吉馴明子 乗浩子 渡辺友子 渡辺敏 渡部康子 Ruby Korver 匿名3件

【終身会員の任意寄付】(9件 290,000円)

Agnes 美智子 越智さやか 佐藤雅子 曾根順子 大工原孝 塚本康子 坂東澄子 本山早苗 匿名1件

【任意寄付】(29件 205,076,355円)

2023 伊勢原の集い 稲葉敦子 桂まゆみ 恵泉会 恵泉会友の会 恵泉女学園同窓会 嵯峨野株式会社古本募金きしゃぼん 水津牧子 杉山智子 東京IIゾンタクラブ 仁科優子 濱田敬子 星野鋼 松尾香苗 三武浩 宮田英男 山西奈緒 吉見雅映 匿名1件

※ 下線は、ご逝去の報を頂戴しました会員の方々です。

●お振込みでのご寄付

右記の二次元コードからお申し込みのうへ、お振込みください。振込先はお申し込みフォームに記載しております。



●インターネット(クレジットカード)からのご寄付

右記の二次元コードからお申し込みください。



【寄付金サイト】

<https://keisenjogakuen.jp/donation/fellowship/>

恵泉フェロシップ会報 第45号

発行日 2025年7月22日

発行 学校法人恵泉女学園

編集 恵泉フェロシップ事務局

156-8520 東京都世田谷区船橋5-8-1

Tel:03-3303-2111 Fax:03-3303-2323